

令和 6 年度
事業報告書



社会福祉法人 千寿会

〒861-4733

熊本県下益城郡美里町二和田字下原 1233 番地

TEL 0964-47-2600 (代表) FAX 0964-47-2603

Email : youkouen@maple.ocn.ne.jp

URL : <http://www.youkouen.com/>

令和6年度 事業報告

1. 総括

令和6年度においては、4月に悠優みふねの小規模多機能、有料老人ホーム、7月にデイサービスセンターを開所するなど、千寿会にとって今後の広域的な施設運営の行く末を占う上でも、とても重要な年でした。まずは、地域の皆さんに千寿会のことを知ってもらう活動、施設の良さを多くの方に知ってもらうための施設見学会、食事の試食会など行うことなどに努めていきました。結果、地域の方からの信頼、その存在を認めていただける一定の成果を出すことはできましたが、予算と実績、収支のバランスでは大きな課題を残す結果となりました。法人全体としても開設から31年で初めて赤字の決算報告をすることになりました。

事業方針での主な取り組みにおいて特に力を入れてきた人材の確保においては、御船の新規事業の募集は落ち着いた中ではありましたが、令和6年度は87名の面接、63名の採用で採用率は72%でした。率としては高く見えるものの、応募者数が減少したため実質的には昨年（採用率52%）よりも厳しい結果となりました。ただし、一定の成果は出せたものと評価しています。職員教育については、ズームを活用した全体研修を多く取り入れ、参加できない職員はビデオ録画を視聴するなど、できるだけ多くの職員が参加できる工夫と研修内容の共有化を図っていきました。

働きやすい職場づくりにおいては、拘束時間の9時間30分を9時間に変更。夜勤手当の変更など、少しでも働く環境が良くなるための改善に努めました。

また、補助金の活用にて3月に介護記憶ソフト「FT ケア」の導入を行いました。今後、簡単に適切な記録ができることで、業務の効率化と介護職員の負担の軽減につなげていきます。

一年を振り返りますと、毎月の予算達成が難しい中で現場職員に業務改善を検討してもらうことなどに追われた年となりました。今回、このような赤字の決算報告をしなくてはならなくなったことにつきましては、関係者の皆様に深くお詫びを申し上げたいと思います。また、今後身を切る思いで改善に取り組んでまいりたいと思います。ここに令和6年度における千寿会の事業の概要を収録いたしましたのでご高覧頂ければ幸いです。また、今後におきましても皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げ、巻頭の言葉とします。

令和7年6月

社会福祉法人 千寿会
理事長 白石 靖

2. 経営活動状況

2-1 令和6年度 法人重点項目

① 魅力ある職場作りの実践

今年度も笑顔をキャッチフレーズにした運営を心掛けて取り組みました。

コロナ過から平常に戻す取り組み、家族参加の行事なども開始する中で利用者や家族、職員の笑顔を取り戻せていきました。また、その光景などをSNSやコーポレートサイトに掲載して発信することも心掛けました。

今年度より社内報「笑（ショウ）」により、頑張っている職員や新人職員の紹介、各部署の取り組みなどの紹介を行うことで職員のモチベーションアップにつなげていきました。

そのほか、職員が働きやすくなるために下記の改善を行いました。

- 定年 63 歳から 65 歳に延長
- 勤務拘束時間を 9 時間半から 9 時間に変更
- 夜勤手当 4000 円から 5000 円に変更
- 新介護記録ソフト「FT ケア」導入（熊本県介護職員勤務環境改善事業補助金）

②独自の採用システムの充実

深刻な人材不足を乗り越えるために、毎月2回のミーティングを重ね、SNS上のプラットフォームに様々な工夫と多くの人に見てもらえるコーポレートサイトの工夫を重ねていきました。令和6年度は、御船事業の採用がある程度落ち着いた中でのものでしたが、結果として87名のエントリー（面接）中、63名の採用を行いました。採用率は72%（昨年度52%）と採用に関しては一定の成果は見られています。課題として、採用63名中1年以内の退職が16名いたということです。

採用状況詳細（令和6年4月1日～令和7年4月1日）

応募経路	人材紹介	リファラル	自社サイト	ハローワーク	その他	計
件数	16	12	17	10	8	63
職種	介護職	看護職	管理栄養士	調理員	PT / 事務	計
人数	33	10	1	17	1 / 1	63
入職時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計	
	31	11	12	9	63	
年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～73	計
	7	16	16	11	13	63
男	女	計				
3	60	63				

※採用に関しては御船町の施設の人員の確保もあり、63名（昨年62名）の採用ができました。採用率72%（昨年52%）人材紹介の16名は、一般の紹介会社ではなくジョブメドレー等の登録スカウト式のもので成功報酬も20万～30万程度であり、全体の採用単価も1名当たり5～6万円で抑えることができました。

③ 地域貢献事業の充実

ふれあいサロンの実施は、早楠地区が中止となり16地域のサロンの支援を行いました。昨年度より参加者は実人員で51名ほど少ない結果となりました。また、配食サービスにおいては、陽光園、

みんなの家、サテライト、御船において合計 22,488 食を配ることができました。昨年度より▲1395食となっています。

配食サービス詳細

	陽光園	みんなの家	サテライトみんなの家	悠優みふね
令和6年4月	1,012	674	228	0
5月	1,064	686	233	0
6月	955	683	256	0
7月	1,109	645	326	39
8月	1,044	634	258	47
9月	1,049	605	250	52
10月	1,115	660	224	44
11月	1,044	618	207	66
12月	926	529	238	66
令和7年1月	924	424	237	111
2月	855	362	215	113
3月	1,008	382	229	142
小計	12,005	6,902	2,901	680
合計	22,488			

令和6年度ふれあい・いきいきサロン 月別利用者数

	地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	栗崎	0	0	0	4	0	3	4	4	4	4	4	4	31
2	三和	17	17	13	17	11	15	13	9	12	0	12	15	151
3	古町	9	7	8	8	9	10	7	9	9	9	9	10	104
4	安部	10	10	9	9	9	8	10	10	7	8	11	8	109
5	原町	9	12	11	11	8	10	8	9	7	9	8	9	111
6	中永富	4	6	5	5	5	0	5	6	0	6	8	9	59
7	越早津	6	5	6	8	8	7	7	6	8	8	6	6	81
8	下永富	7	5	7	7	8	7	8	6	8	8	6	8	85
9	津留	9	7	7	7	6	8	9	6	9	7	8	8	91
10	内山	5	5	4	3	5	4	4	3	5	2	2	3	48
11	土喰	3	3	3	3	3	3	0	2	2	3	3	3	31
12	柏川	5	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	54
13	桑鶴	9	7	9	5	7	6	8	7	8	8	7	8	89
14	福良	4	5	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	57
15	峠原	0	8	9	8	0	10	9	9	9	8	10	9	89
16	竹の迫庵室	3	6	7	5	8	5	6	5	6	8	6	8	73
男女別	男	20	21	20	22	20	23	26	22	24	23	25	26	272
合計	女	80	87	86	88	76	83	81	79	80	74	85	92	991
合計		109	100	129	110	100	99	123	117	114	97	110	106	1263

看取りケアの充実

千寿会のこだわりの一つである看取りケアについては、特養を中心に数多くの実践を行いました。利用者、家族の意思や要望のもとに、人生の最期を穏やかに過ごしていただくことを目標に法人全

体で 37 件の施設内での看取りケアの実践ができました。

	退所者数	看取り数
特別養護老人ホーム陽光園本館	10	9
特別養護老人ホーム陽光園東館	13	11
グループホームひだまり	6	2
コミュニティハウスみんなの家	10	4
小規模多機能みんなの家		1
特別養護老人ホーム悠優かしま	9	5
コミュニティハウス悠優かしま	10	4
コミュニティハウス悠優みふね	8	1
合計	66	37

④ 悠優みふね事業の結果と課題

令和 6 年度は、悠優みふね事業全体で 212,310（千円）の予算を立てておりましたが、結果 112,212（千円）の実績と大きな収入減となりました。人件費などをコントロールする努力を行っていききましたが大きなマイナスを作る結果となりました。

有料老人ホーム

立ち上げから 3 か月経たない状況で満床にすることはできました。しかしながら利用者の状態は要介護 1・2 の方でお元気な方が大半を占め、訪問介護やデイサービスの給付に結びつけることが難しかったことが収入減の要因です。また、法人の方針として無理強いをしない、本人の意向を尊重した結果でもあります。新年度からは特定施設での運営となり、月額 400 万円程度の収入増となり、収入の問題は解決する見込みです。

小規模多機能居宅介護

小規模多機能においては、サービス内容が一般的に知られていない事業でもあり地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、医療機関に対し周知活動を行っていききましたが、居宅のケアマネからの紹介はゼロと集客に苦戦しました。現在は登録 18～19 名となりましたが、時間がかかり過ぎたことが大きなマイナスとなりました。新年度、登録人数を平均 24～25 名にすることで健全な状態を目指します。

デイサービス

デイサービスは 7 月からの開所となりました。本体の有料老人ホームからは 7 名の利用者のみで、居宅のケアマネなど外部からの集客に苦戦しました。現在、実人員は 43 名ほどになっており、新年度早い時期に 60 名を超える利用者確保を目指します。

2-2 財務状況

令和 6 年度は、悠優みふね開所もあり法人全体の予算を 1,394,040（千円）としましたが、結果として収入は 1,320,103（千円）と大きな減収となりました。大きな要因は悠優みふね 4 部門において予算に対して 76,723（千円）収入不足が生じたことです。悠優みふね拠点と悠優みふね（有料老人ホーム）拠点だけでサービス活動増減差額が ▲108,314（千円）となってしまうました。

年度途中から非常に厳しい状況にあることは理解できており、法人全体で人件費等の費用をできる限りコントロールしていききましたが結果として赤字決算となってしまうました。表 1 の事業活動概要の通り活動増減差額が ▲46,804（千円）と増収減益の赤字で年度を終了しております。

次年度は、赤字の要因も対策も理解できており、悠優みふねの集客を高め収支の状態を適正化す

るとともに、法人全体で無理・無駄をなくし、収益性を高める運営を目指していきます。

表 1：事業活動収支の概要推移

(単位：千円)

事業年度 項目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
	実績	実績	実績	前年比
事業活動収入	1,229,446	1,222,266	1,320,103	108%
サービス活動 増減差額	27,349	42,367	-49,514	-116%
	(2.2%)	(3.4%)	(-3.7%)	
人件費	871,670	837,493	942,826	110%
	(70.8%)	(67.4%)	(71.4%)	
経費	1,202,097	1,179,899	1,369,617	116%
活動増減差額 (利益)	23,139	47,112	-46,804	-99.3%

2-3 施設改修・整備状況

令和6年度は、デイサービスセンター悠優みふねの新築工事に伴う備品等の整備に始まり、介護職員の負担軽減のために熊本県介護職員環境改善支援事業補助金（補助率 3/4）を活用し、介護用リフトの導入と法人全事業所に介護記録ソフト等の導入を行いました。また、美里町における人材確保の為に、肥後銀行砥用支店の社宅 2 棟を買い上げ、リフォーム工事を行い外国人寄宿舎の準備を行いました。

用途	月	事業者	金額	備考
悠優みふねデイサービス 備品整備	2024 年 5 月	(株) アイリスチトセ	1,792,780 円	
陽光園防草シート工事	5 月	伊勢造園	3,262,600 円	
介護記録ソフト「FT ケア」 移動用リフト×2	11 月	(株) ミタカ	24,579,000 円	熊本県介護職員環境改善支援事業補助金 補助金額 17,068,000 円
外国人寄宿舎購入 リフォーム工事	2025 年 2 月	(株) トップ	29,920,000 円	肥後銀行借入 3000 万円
太陽光発電システム工事	3 月	大和電機(株)	62,700,000 円	大分銀行借入 6270 万円

2-4 節電対策

節電対策については、高騰するばかりの電気代を少しでも抑えるために、令和4年度の後半より毎月の運営会議にて電気代の見える化と意識改革を続けていきました。いかに使用料を抑えるか？特に空調の使用を工夫するかなどを議論していきました。2024 年 8 月分からは、高圧の契約（25%割引）がなくなり、費用が大きく増加しています。

2024 年度は、使用料は大きく変わらない中、年間費用で 1,100 万円ほど増えています。

現在、太陽光発電の工事を行っており、7 月より使用できるようになります。シュミレーション通

りに運べば、使用料金を年平均で25%減らすことができますこととなります。

2022年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
使用料 (kw)	95,004	62,282	58,615	75,009	111,563	117,852	83,594	59,007	60,600	124,461	130,083	101,441	1,079,511
料金 (千円)	1,688	1,275	1,227	1,512	2,172	2,386	1,883	1,453	1,511	2,667	2,462	1,956	22,192

2023年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
使用料 (kw)	70,632	52,970	54,086	67,738	100,614	109,879	89,886	54,142	71,298	109,227	116,964	88,054	985,470
料金 (千円)	1,506	1,146	1,129	1,283	1,666	1,726	1,658	1,078	1,249	1,654	1,711	1,415	17,133

2024年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
使用料 (kw)	85,011	53,283	54,287	71,378	126,341	133,943	108,575	70,775	73,107	130,842	148,269	137,867	1,193,678
料金 (千円)	1,375	1,162	1,514	1,939	3,313	3,036	2,583	2,068	2,043	3,014	3,121	2,995	28,163

3. 理事会・評議委員会

千寿会では以下の理事、評議員の体制にて法人運営をおこなっております。

毎月、常任理事会で運営状況の課題の確認を行い、法人運営会議にて職員に周知を行う体制を作り、法人全体で目標意識を持てる運営ができるように努めていきました。

① 理事および評議員の状況（令和7年4月1日現在）

理事定数8名・監事定数2名

- ▶理事長 白石 靖
- ▶常務理事 ①白石 靖 ②間部 倫章 ③貝川 幸利 ④土田幸博
- ▶外部理事 ⑤大村 裕司 ⑥西田 剛 ⑦曾方 之 ⑧間部 訓章
- ▶監事 ①遠山 敏子 ②澤田 益洋

評議員9名

- ▶①田中ヨシエ ②松永 明美 ③田村 陽子 ④田中一英 ⑤相藤 絹代
- ⑥隈部 淳一 ⑦篠原 敦子 ⑧石坂紀昭 ⑨木下啓司

評議員選任・解任委員4名

- ▶①田上要一 ②服部 啓子 ③廣田 恵子 ④杉山淳彦

表 2：定期理事会・評議員会開催状況

理事会			
開催回数	① 開催日 ② 場 所	議決事項等	参加人数
第 165 回 定時理事会	令和 6 年 6 月 11 日（火） 陽光園東館会議室 10：30～12：00	① 令和 5 年度 事業報告承認について ② 令和 5 年度 決算報告承認について ③ 令和 5 年度 社会福祉充実残額について ④ 理事長の職務執行状況報告 ⑤ 就業規則の変更（夜勤手当）について ⑥ 定時評議員会の開催について ⑦ その他（資金運用規定・太陽光発電等）	理事 6 名 監事 2 名 事務 1 名
第 166 回 定時理事会	令和 6 年 12 月 3 日（火） 陽光園東館会議室 14：00～15：30	① 令和 6 年度 千寿会上半期決算報告 ② 就業規則変更について（勤務時間等） ③ 理事長の職務執行状況報告 ④ その他 ・サポーター制度導入について ・外国人寄宿舎について ・令和 6 年度介護職員勤務改善事業について	理事 6 名 監事 2 名 事務 1 名
第 167 回 臨時理事会	令和 7 年 3 月 11 日（火） 書面決議による理事会	令和 5 年度社会福祉法人事業報告文章一部変更について	理事 8 名 監事 2 名
第 168 回 定時理事会	令和 7 年 3 月 28 日（金） 陽光園東館会議室 14：00～15：30	① 令和 7 年度事業計画・予算承認について ② 令和 7 年度理事・監事報酬について ③ 定款変更について（特定施設項目追加） ④ 就業規則の変更について（有給休暇・） ⑤ 理事・監事・評議員推薦について	理事 6 名 監事 2 名 事務 1 名

評議員会			
開催回数	① 開催日 ② 場 所	議決事項等	参加人数
第 95 回 定時評議員会	令和 6 年 6 月 26 日（水） 陽光園東館会議室 14：00～15：30	① 令和 5 年度事業報告について ② 令和 5 年度決算報告・監査報告について ③ 社会福祉充実残額の計算について ④ 令和 5 年度理事・監事報酬の承認 ⑤ その他報告 ・定年延長 ・夜勤手当の変更 ・有給休暇について	評議員 9 名 監事 1 名 理事 2 名 事務 1 名
第 96 回 臨時評議員会	令和 7 年 3 月 11 日（火） 書面評議員会	令和 5 年度社会福祉法人事業報告文章一部変更について	評議員 9 名

4. 職員状況

職員のおきましては、事業部門も多く、法人全体で正規職員 196 名非常勤職員 55 名の合計 251 名の職員が働いております。

表 3：事業所別職員数

〔令和 7 年 4 月 1 日現在〕

部署・事業所	形態	職員数			増減
		正規職員	非常勤職員	計	
事務部（法人全体）		7	0	7	+1
栄養管理部		6	7	13	0
陽光園本館（特養）		15	1	16	-1

陽光園東館（特養）	17	1	18	-4
デイサービス（陽光園）	10	4	14	0
ヘルパーステーション	4	7	11	+1
陽光園居宅介護支援事業所	3	0	3	0
グループホーム	13	1	14	0
高齢者支援ハウス 太陽の丘	2	0	2	0
みんなの家・小規模多機能	16	4	20	-3
みんなの家・特定施設入居者生活介護	14	1	15	0
みんなの家（栄養管理部）	3	4	7	+2
サテライトみんなの家	1	1	2	0
悠優かしま（特養）	27	1	28	+3
悠優かしま（デイ）	6	7	13	+2
悠優かしま（居宅）	4	0	4	+1
悠優かしま（特定）	16	1	17	0
悠優みふね（小規模）	7	1	8	0
悠優みふね（有料老人ホーム）	9	2	11	+3
ナーシング plus 悠優	4	2	6	+2
悠優みふね（栄養管理部）	4	4	8	-8
悠優かしま（栄養管理部）	4	3	7	+7
悠優みふね（デイ）	4	3	7	+7
合 計	196	55	251	+13

（時間給で1日8時間、週5日勤務者は正規職員欄にカウント）

表4：職員年齢構成

[令和7年4月1日現在]

	20歳以下	20歳以上 29歳以下	30歳以上 39歳以下	40歳以上 49歳以上	50歳以上 54歳以下	55歳以上 59歳以下	60歳以上 63歳以下	64歳以上
令和5年	0	20	54	47	32	19	33	35
令和6年	0	16	56	59	24	21	31	41

※職員の増員に伴い、各年代ともに増加しています。30代40代の職員数は増加しています。64歳以上は定年後の非常勤での再雇用が増えているためです。

表5：有資格者状況

[令和7年4月1日現在]

資格等	令和5年	令和6年	資格等	令和5年	令和6年
社会福祉士	10	12	准看護師	16	18
社会福祉主事任用	11	11	理学・作業・言語療法士	3	3
主任介護支援専門員	6	7	管理栄養士・栄養士	8	10
介護支援専門員	29	30	実践者研修(認知症)	26	27
介護福祉士	135	140	リーダー研修(認知症)	10	11
介護職員実務研修	10	10	ユニットリーダー研修	14	15
正看護師	18	14			

※介護福祉士が、介護支援専門員の資格者増は、資格取得のための支援等の成果が実を結んだ結果と思われます。

表6：令和6年度 入職・退職状況

	令和6年4月	入職	退職	令和7年4月
正社員	192	42	37	197
非常勤	48	21	15	54
計	240	63	52	251

※正社員退職37名と多いのは、入職後1年以内の退職者16名と6年度の定年退職者6名の22名が含まれた数となっています。

6. 法人会議状況

会議名	開催日	議題等	出席者
運営会議 法人理事、各部署	4月19日 (金) 東館会議室	① 3月度の運営状況 ② 節電対策について ③ 悠優みふね進捗状況 ④ 働きかた改革について ⑤ 4月からの人員配置について	常任理事 部署責任者 14名
	5月17日 (金) 東館会議室	① 4月度の運営状況 ② 制度改正に伴う課題 ③ 介護人材確保への県の取り組み ④ 節電対策について ⑤ 定時理事会・評議員会開催について	常任理事 部署責任者 14名

管理者、主任により 運営を共有するための 会議	6月24日 (金) 東館会議室	① 5月度の運営状況 ② 千寿会5年度決算内容報告 ③ 処遇改善手当て ④ 節電対策について ⑤ 熊本県介護職員勤務環境改善事業補助金申請について	常任理事 部署責任者 14名
	7月19日 (金) 東館会議室	① 6月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 社内報作成について	常任理事 部署責任者 13名
	8月16日 (金) 東館会議室	① 7月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 社内報について	常任理事 部署責任者 14名
	9月20日 (金) 東館会議室	① 8月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 社内報について	常任理事 部署責任者 14名
	10月17日 (金) 東館会議室	① 9月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 拘束時間9時間に向けた意見交換 ⑤ 次年度退職者について	常任理事 部署責任者 13名
	11月15日 (金) 東館会議室	① 10月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 拘束時間9時間に向けた意見交換 ⑤ サポーター制度導入について ⑥ 定年65歳に伴う働きかたの検討 ⑦ 有給休暇制度について	常任理事 部署責任者 14名
	12月20日 (木) 東館会議室	① 11月度の運営状況 ② 半期決算報告について ③ 収入と費用を考えた健全経営 ④ 節電対策について ⑤ 拘束時間9時間について ⑥ サポーター制度導入案について ⑦ 定年65歳に伴う働きかた意見交換 ⑧ 熊本県介護職員勤務環境改善事業について	常任理事 部署責任者 14名
	1月24日 (金) 東館会議室	① 12月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 監査総評 ⑤ 新年度人事について ⑥ 外国人労働者受入れについて ⑦ 食費・水光熱費の値上げ検討について	常任理事 部署責任者 13名
	2月21日 (金) 東館会議室	① 1月度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 節電対策について ④ 65歳以上職員の再契約について ⑤ 新年度人事について ⑥ 食費・水光熱費の値上げ案について ⑦ 令和7年度事業計画・予算について ⑧ 新年度昇給について ⑨ 勤怠管理ソフトについて ⑩ 期末賞与支給について	常任理事 部署責任者 13名

3月21日 (金) 東館会議室	① 2年度の運営状況 ② 収入と費用を考えた健全経営 ③ 令和7年度事業計画と予算について ④ 節電対策について ⑤ 新年度人事について ⑥ 食費・水光熱費値上周知について	常任理事 部署責任者 14名
-----------------------	---	----------------------

会議名	開催日	議題等	出席者
リスク会議 *事故・ヒヤリハット、苦情等の件数集計は、各事業所の報告書に掲載。	4月17日(水) web会議 16:00~	3年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
	5月15日(水) web会議 16:00~	4年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
	7月17日(水) web会議 16:00~	5月・6年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他9名参加
	8月21日(水) web会議 16:00~	7年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
	9月18日(水) web会議 16:00~	8年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他11名参加
	10月16日(水) web会議 16:00~	9年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
	11月20日(水) web会議 16:00~	10年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
	12月18日(水) web会議 16:00~	11年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他9名参加
	1月15日(水) web会議 16:00~	12年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
	2月19日(水) web会議 16:00~	1年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他10名参加
3月19日(水) Web会議 16:00~	2年度の各部署ヒヤリハット・事故・ご意見 ご要望報告 再発防止に向けた検討	白石理事長 他11名参加	

会議名	開催日	議題等	出席者
感染予防委員会議	令和6年 5月30日	新型コロナウイルス感染症対策について ① 施設における感染防止対策 ② 面会について(県外・県内) ③ 業者対応について ④ 職員の行動自粛について ・外食 ・旅行等 ⑤ 医療機関受診・回診について ⑥ ワクチン接種について	・白石理事長 ・間部事務局長 ・内山(本館) ・ 東(東館) ・石山部長(特定) ・上野(デイ) ・川上(小規模) ・松村(サテライ ト) ・上村(GH) ・宮田(居宅)

	8月13日	新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応について (1) 外出制限について (2) 濃厚接触者の扱いについて (3) 療養期間の取扱い	・白石理事長 ・間部事務局長 ・内山(本館) ・東(東館) ・石山部長(特定) ・上野(デイ) ・川上(小規模) ・松村(サテライト) ・上村(GH) ・宮田(居宅)
	12月13日	コロナ及びインフルエンザ感染予防について ① 利用者面会について ② 職員の行動自粛について ③ 医療機関受診・回診について	・白石理事長 ・間部事務局長 ・内山(本館) ・東(東館) ・石山部長(特定) ・上野(デイ) ・田村(GH) ・宮田(居宅)・吉島(栄養課)

令和6年度 職員外部研修会参加報告書

(陽光園・みんなの家・悠優かしま・ナーシングPlus 悠優合算)

実施年月日	研修内容	開催地	人数	参加者名
令和6年 4月25日	令和6年度介護報酬改定の概要について	熊本県立劇場	1	吉島志保
5月21日	令和7年3月新規学校卒業者対象求人説明会	熊本市民会館	1	杉山淳彦
5月25日	令和5年度事業報告・収支決算の件	くまもと県民交流会館パレア	1	吉島志保
7月1日～ 8月27日	認知症介護実践者研修	ZOOM	1	一川達也
7月8日	社会福祉法人役員向け会計研修会	熊本県医師会館	1	白石 靖
8月28日 29日	令和6年度認知症対応型サービス事業管理者研修会	ZOOM	1	高田愛美
9月1日	災害時「食べる」連携研修	日本災害医学会	1	金光節子
9月11日	衛生管理講習会	グランメッセ熊本	1	杉山淳彦
9月12日	医療的ケア教員研修会	熊本市	1	西島成美
9月27日	認知症サポーター養成講座	美里町励徳小学校	2	宮田里美 杉山淳彦
10月8日	令和6年度宇城圏域感染症研修会について	熊本県宇城地域振興局	1	内山理可
10月23日	熊本県老人福祉施設LIFE研修会	KKR ホテル熊本	2	井出成美 井出達也
10月30日	令和6年度上益城権利擁護研修会	嘉島町民会館ホール	2	土田幸博 田村美奈
11月19日	令和6年度熊本県老人福祉施設研究大会	熊本テルサ	1	上川達也

11月30日	災害支援ケアマネージャーフォローアップ研修	Web研修	1	金光節子
令和7年 1月14日	認知症サポーター養成講座におけるキャラバンメイト	美里町立砥用中学校	1	吉本拓磨
2月21日	クライアントを理解する -アセスメントの意義を見直そう-	熊本県介護支援専門 員協会	1	金光節子
2月28日	見守りネットワーク	美里町砥用庁舎	1	藤島由梨

令和6年度 施設内研修実績

実施月日	研修内容	参加事業所名
5月22日	私たちは、なぜ看取りケアを行うのか ~その人の人生と向き合うケアを	Zoom 千寿会全事業所
7月17日 22日	▶感染症 食中毒について	かしま全事業所
7月26日	BPSDとどう向き合うか	Zoom 千寿会全事業所
8月9日	業務継続計画について 72時間対応の非常用発電機設置について	かしま全事業所
10月11日 31日	▶虐待防止について 「虐待の芽」チェックリスト	かしま全事業所
12月6日 19日	「感染症発生時における業務継続計画」 「予防衣の着脱訓」	かしま全事業所
1月9日 23日	身体拘束廃止辞令検討会	かしま全事業所
2月6日	介護の仕事とコミュニケーション	Zoom 千寿会全事業所

介護老人福祉施設 部門

特別養護老人ホーム 陽光園本館（従来型特養） 陽光園本館短期入所生活介護（ショートステイ） 【事業報告】

1. 総括

・利用者、家族とのつながりを大切にすることを重点におき、ご要望を少しでも叶えることができるよう柔軟に対応を行い、外出や外泊支援、サロンへの参加も行うことができた。12月にコロナ増加及びインフルエンザ感染もあったが、家族を案内しての行事も実施することができた。

・退所者10名中、園での看取りが9件あり、家族と共に最期を過ごせるよう取り組んだ。癌の方の看取りを本館では初めて行ったが、多職種連携、スタッフの不安等をカンファレンスにて確認しながら、最期まで本人、家族が安心できるよう関わりを続けることができた。

・技能実習生を迎え入れ早3年が経過する。記録を書く、申し送りをするなど特定技能に向けてスキルアップができるよう指導を行った。

・本年度の退職者1名とスタッフの定着率はよかった。今後も働きやすい職場づくり、相談しやすい職場づくりなどを心掛けていく。特にコミュニケーションエラーによる影響が起きないように、スタッフ間でミーティングを行っていく。

・少ないスタッフ数で利用者に迷惑をかけないためにはどうすべきか、いかにコミュニケーションが大事になるか、常日頃から意識していけるよう職員間で認識できるように働きかけた。

2. 実績報告（単位千円）

特別養護老人ホーム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	11670	12060	11670	12060	12060	11670	12060	11670	12060	12060	10900	12060	142000
実績	11244	12160	11332	12710	12659	12133	12817	12243	12240	11584	9804	13493	144419
達成率	96.3	100.8	97.1	105.4	105	104	106.3	104.9	101.5	96.1	89.9	111.9	102%
稼働率	94%	95.8%	92%	100%	100%	99.1%	100%	96%	94.8%	91.8%	97.3%	97.8%	96.5%

短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	2310	2387	2310	2387	2387	2310	2387	2310	2337	2332	2156	2387	28000
実績	2285	2505	2061	2130	2440	2216	1930	2668	1667	2250	2081	1831	26064
達成率	98.9	104.9	89.2	89.2	102.2	95.9	80.9	115.5	71.3	96.5	96.5	76.7	93
稼働率	80%	70%	66%	65%	77%	74%	69%	85%	56%	82%	77%	54%	71%

評価：入所部門

・入所検討会を定期的には開催しているが、待機者が少なく、退去後にスムーズな入所ができないケースも多かった。

・年間の入院総計6名、空床191日程度、入院の要因として、コロナ後の重症化1件、気管支肺炎、急性腎盂腎炎、その他病気の悪化であった。今後も予防や早期発見ができる部分は早めの対応を行っていく。

・退所者 10 名中 9 名が園にて看取りを行なった。主治医はじめ多職種で連携し利用者や家族の願いは何かを引き出し安心してそして悔いのない最期を迎えていただけるよう支援を行なった。

短期入所部門

・新規利用 16 件と前年に比べて昨年に比べ大幅に少なかったが、長期利用の方が多かったためか 1 日利用平均 6.4 人、1 か月の実人員が平均 15.4 人と昨年度と大きな変わりなし。今後も他施設へのアプローチを行い、定期的な利用につなげるよう工夫が必要であった。

・コロナ発生後の利用者の受け入れはリスクを説明し、家庭環境問題等含め利用が必要な方は継続して利用をされた。

3. 利用者の状況

年齢構成（特養・3月末時点）

	64 歳以下	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～94 歳	95 歳～99 歳	100 歳以上	合計	平均年齢
男				1	1	1		1		4	87 歳
女			1	1	4	7	5	6	1	25	92.4 歳
計			1	2	5	8	5	7	1	29	89.4 歳

利用者在籍状況（特養） 10月ショート枠特例入所あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	30	30	30	30	30	30	31	30	30	30	30	30	360
平均介護度	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
入居者	3	1	2	0	0	1	2	0	1	1	1	1	13
退去者	0	1	2	0	0	1	1	1	1	0	2	1	10
看取り	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	2	1	9

短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	17	14	13	14	17	19	17	17	12	15	16	14	185
延べ数	216	195	180	182	215	200	186	230	157	230	196	150	2337
平均介護度	2.6	2.3	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2	2	2.2

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	6
軽微事故	1	6	1	4	6	5	3	5	6	3	6	1	47
ヒヤリ	1	0	5	4	3	3	1	0	2	1	0	0	20
ご要望	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	6

評価：

・大きな介護事故はなかったが、園外（敷地内）に出でいかれて他部署の方に発見されるケースが数件あった。防ぐことのできるリスクは防いでいけるよう、気付きの視点を高めていく必要がある

・ご意見ご要望は、以前より減少している。意見を伝えていただくことで自分たちの関わりやケアの振り返りに繋がるので、今後も引き出せるような関係性を作っていきたい。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	花見ドライブ	
5月	菖蒲湯 母の日メッセージ	全体ミーティング 虐待・身体拘束廃止についての勉強会
6月	父の日とおやつ作り 園外「ふるさとドライブ」 七夕制作（家族へ短冊依頼）	褥瘡勉強会 感染勉強会
7月	夏のお楽しみ会 かき氷	全体ミーティング リスクマネジメント検討会
8月	バーベキュー スイカ割り	虐待・身体拘束廃止についての勉強会
9月	敬老祝賀会（家族参加）	全体ミーティング 虐待・身体拘束廃止についての勉強会
10月	矢部方面へドライブ ショッピング	虐待・身体拘束廃止についての勉強会 褥瘡勉強会
11月	運動会・焼き芋	感染症についての勉強会 感染勉強会「防護服着脱」 リスクマネジメント検討会
12月	美化作業（家族参加）	
1月	園外「初詣」 書初め 制作（絵馬作成） 新年会「お寿司バイキング」	身体拘束廃止についての勉強会 全体ミーティング
2月	節分行事 おやつ作り ひな祭り制作	全体ミーティング
3月	花見ドライブ おやつ作り	褥瘡勉強会

※月1～3件 カンファレンス実施

評価：

- ・家族参加型の行事を計画し、家族と共に過ごして頂く時間を作ることができた。今回初めて美化作業の協力依頼をし、10名の家族の参加があった。
- ・季節に応じた行事を計画し実施することで、利用者の方の喜びの声も聞かれた。

ユニットケア 部門

ユニット型 特別養護老人ホーム 陽光園東館 【事業報告】

1. 総括

- ・令和6年度も退所が13件中11件の看取りケアを行いました。今年度もコロナ感染後から徐々に看取り期になるケースが今年度も多く見られました。
- ・夜間入浴を7月より開始し、入浴時間も幅広い時間で対応できるようにしたことで、慌てずご利用者に合わせて柔軟なケアが充実した一年になった。
- ・東館全体で重度化が進んでおり、食事と排泄、入浴の3大介護に追われる日々でこの1年過ごしてきました。2人介助が必要なご利用者も多く、福祉用具の活用をしながらご利用者の状況に合わせてケアを行った。職員間の声掛けなども良く聞こえるようになり、チーム力が高まった一年となった。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	13230	13675	13230	13675	13675	13230	13675	13230	13675	13675	12355	13675	161000
実績	14204	14882	14248	14166	14743	14279	14662	14165	14285	14543	13264	14410	171851
達成率	107.4%	108.8%	107.7%	103.0%	100.3%	107.9%	107.2%	107.1%	104.5%	106.3%	107.4%	105.4%	107%
稼働率	98.4%	100%	97.5%	94%	98.2%	98.3%	98.3%	97.7%	95.6%	96.3%	98.2%	98.2%	96.5%

評価：一番の要因として待機者の減少である。また、ユニット型特養で個室料金が高く従来型の特養を希望されるご利用者が多く、入居に結びつくまで苦戦をした。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和6年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男			1			3	1	1		6	88.2歳
女			1			5	12	4		22	90.4歳
計			2			8	13	5		28	89.9歳

利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	30	30	29	29	29	29	30	30	30	29	30	28	353
平均介護度	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0
入居者				1	1	2	2	2	3	1	1	0	13
退去者			2		1	2	1	1	2	2		2	13
施設内看取り			1		1	2	1	1	2	1		2	11

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故								1		1			2

軽微事故	9	8	7	7	2	3	1	2	7	7	15	6	80
ヒヤリ	6	5	2	2	10	9	6	10	3	13	6	6	78
ご要望		1				1		1	2				5

評価： リスクに関しては、ヒヤリを多く出し大きな事故につながらないように要因と対策等を強化しながら申し送り等で情報共有を行いました。夜間帯に居室での転倒による骨折入院が2件あり、要因などの検討とセンサー検討を行った。今後も予測されるリスクなど一人一人の意識を高めて情報共有（職員間のコミュニケーションを高める）を図っていく。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月		4/18 東館全体会議（カンファも含む） 4/5 ユニットリーダー会議
5月	5/12 母の日イベント（食事会）	5/3 東館全体会議（事業計画の周知） 5/26 移乗の勉強会
6月	6/16 父の日イベント（食事会）	6/4 東館全体会議（ユニットケアについて） 6/28 ユニットリーダー会議
7月	7/7 そうめん流し	7/1.2 東館ミーティング（業務改善） 7/23 東館勉強会（業務改善） 7/18 内部研修
8月	8/19 やまびこ祭り（焼肉会）	8/20 B B Q 8/27 内部研修 8/29 東館勉強会（プライバシーについて）
9月	9/15 敬老会お祝い	9/24 東館勉強会（認知症について）
10月	10/28 ハロウィンパーティー	10/15 東館全体会議（チームケアについて） 10/25 B C P 研修
11月	11/19 おやつ作り	11/26 東館全体会議（業務改善と現状について）
12月	12/23 餅つき大会	12/2 内部研修
1月	1/15 初詣（穂積神社）	
2月	2/3 節分豆まき 恵方巻づくり	2/15 ユニットリーダー会議
3月	3/29 花見会	3/6 内部研修

評価： イベントや家族会なども今年は実施する事ができ、外での食事会なども企画しご利用者の笑顔が見ることが出来る1年となりました。自宅への外出や外泊などもご家族に提案して定期的に自宅で過ごせる時間を増やすケアも行いました。

勉強会などユニット毎ではなく全体で会議やカンファレンスを行い30名のご利用者を職員全員が把握できるようにしたことでユニットの壁がなくなり働き易い環境が作れたと感じています。

居宅介護支援事業 部門

陽光園居宅介護支援事業所

【事業報告】

1. 総括

令和6年度も在宅生活の継続を目的としたマネジメント支援を行ってきた。

利用者、家族の意向を踏まえ居宅サービス計画書を作成し、その計画書に従ってサービスが提供されるよう事業所と連携を図った。

保険者や地域包括支援センター、医療機関、各関係機関と連絡、相談、報告を行った。

感染予防に努めながら訪問や電話、リモートやメールなどを活用した。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	935	935	935	935	935	935	935	935	930	930	920	930	11190
実績	798	760	773	803	839	863	850	896	928	841	791	802	9944
達成率	85%	81%	83%	86%	90%	92%	91%	96%	100%	90%	85%	86%	89%

評価：

予算達成率が89%に終わり、目標としていた95%に満たず、予算達成できなかった。

情報のアンテナを張り巡らせながら、今までの実績を生かし、利用者が今後も住み慣れた地域で生活が続けられるための支援ができるようにすすめていきたい。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	2	1	1	2	2	1	2	11	87.5
女	0	0	1	1	3	8	15	6	4	38	90.9
計	0	0	3	2	4	10	17	7	6	49	90.1

利用状況（*平均は要介護者）

	男	女	計	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均
4月	7	40	47	6	6	8	26	12	7	2	0	1.70
5月	7	36	43	7	7	8	25	11	5	1	1	1.70
6月	9	35	44	7	7	9	27	12	4	1	0	1.50
7月	9	37	46	7	7	10	29	10	6	1	0	1.50
8月	10	39	49	6	8	9	30	11	7	1	0	1.60
9月	11	40	51	5	9	7	32	11	7	1	0	1.50
10月	10	40	50	5	9	9	30	11	9	0	0	1.60
11月	11	41	52	4	9	7	30	12	9	1	0	1.60

12月	12	42	54	4	9	7	30	13	9	2	0	1.70
1月	11	39	50	4	8	7	27	14	7	2	0	1.70
2月	10	39	49	5	7	6	27	15	6	0	1	1.60
3月	11	38	49	4	6	6	28	14	6	0	1	1.60
計	118	466	584	64	92	93	341	146	82	12	3	1.60

4. 職員会議（ミーティング）勉強会、研修、等

開催日	内容等	備考
4月 1日・8日・15日・22日・30日	居宅ミーティング	
4月10日	介護支援専門員倫理綱領・行動規範	かしま居宅合同
4月17日	くまもとメディカルネットワーク	美里町
5月 6日・13日・20日・27日	居宅ミーティング	
5月9日	他事業所合同勉強会（リモート）	6事業所
6月 10日・17日・24日	居宅ミーティング	
6月19日	2024 介護保険制度改正	CM 総会 研修
7月 8日・15日・22日・29日	居宅ミーティング	
7月18日	身体拘束廃止、高齢者虐待	園内研修
8月 5日・12日・19日・26日	居宅ミーティング	
8月21日	美里町地域ケア会議	
8月8日	他事業所合同勉強会（リモート）	6事業所
9月 2日・9日・16日・24日・29日	居宅ミーティング	
9月9日	PCA を活用した危険予知トレーニング	園内研修
10月 7日・14日・21日・28日	居宅ミーティング	
10月9日	美里町地域ケア会議	包括支援センター
10月25日	炊き出し訓練	園内研修
11月 5日・11日・18日・26日	居宅ミーティング	
11月7日	他事業所合同勉強会（リモート）	6事業所
11月27日	CM と相談支援専門員	上益城支部
12月 3日・9日・16日・23日・30日	居宅ミーティング	
12月12日	感染症の予防及びびまん延防止	居宅勉強会
1月 7日・13日・20日・27日	居宅ミーティング	
1月8日	介護職員のための個人情報及びプライバシー保護	居宅勉強会
2月 10日・17日・25日	居宅ミーティング	
2月21日	クライアントを理解する アセスメントの意義	居宅勉強会
2月6日	他事業所合同勉強会（リモート）	6事業所
2月27日	身体拘束、虐待研修	園内研修
3月 3日・11日・17日・24日・31日	居宅ミーティング	

5. 評価

他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で研修会を開催、同法人居宅との勉強会、スキルアップ研修などに参加した。いずれもリモートで開催。ケアマネージャー個々が自己研鑽し利用者へ質の高いサービス提供ができるよう、次年度も引き続き研修会等に積極的に参加していく。

通所介護事業 部門

デイサービスセンター 陽光園

【事業報告】

1. 総括

今年度も基本的な感染対策の継続、必要時の簡易検査と受診等早めの対応により、デイサービス内での感染流行を防ぐことができた。年間を通しご利用者、職員ともコロナやインフルエンザの感染は見られたが、家庭内感染が殆どで、症状も軽い方ばかりであった。活動内容としても季節ごとの行事や制作、カラオケやゲーム等復活したものも多く、好評の声も頂いている。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	6,510	6,730	6,510	6,730	6,730	6,510	6,730	6,500	6,340	6,340	5,650	6,720	78,000
実績	5,943	5,633	5,521	6,092	6,498	6,417	6,528	6,542	6,658	5,997	5,304	6,173	73,306
達成率	91%	83%	85%	90%	96%	98%	97%	101%	105%	94%	94%	92%	94%

評価：年間を通して総合事業、介護とも新規の相談（計 33 件）が挙がっているが、入院や施設入所等により登録者数の大幅な増減はなし。利用者の入れ替わりが多かった。

3. 利用者の状況

要介護年齢構成（令和 7 年 3 月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男		0	2	1	3	1	5	1	1	14	87.3歳
女	1	0	1	1	6	7	17	6	4	43	89.6歳
計	1	0	3	2	9	8	22	7	5	57	88.4歳

サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日	26	27	25	27	27	25	27	26	25	25	24	26	310
実人数	77	79	79	81	85	85	88	86	89	85	82	80	996
延べ人数	708	681	652	773	736	728	765	760	737	692	636	705	8573

利用者要介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合事業	25	30	30	30	31	28	29	25	26	25	26	23
要介護1	29	28	29	31	32	34	36	37	36	33	30	33
要介護2	15	14	14	12	13	13	12	14	14	15	17	15
要介護3	7	6	5	7	8	8	10	9	12	9	6	6
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	2
要介護5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
計	77	79	79	81	85	85	88	86	89	85	82	80

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
軽微事故	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
ヒヤリ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ご要望	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

評価：昨年同様に雨天時の車の乗降や介助について、注意を払い事故を未然に防ぐ対応が出来ていた。ホール内では利用者が各々で椅子を動かしたり、歩行器同士の話し合時のリスクが多くなっている。手を挟むような事故は起きていないが、歩行器のブレーキ部の故障につながる為、導線の工夫や声掛けを行っている。肘掛付きの椅子が増えた事で転落などのリスクは減ったが、椅子の後ろを歩く利用者の手が当たるリスクが考えられる。歩行器使用の方も増えている為、使用者の状態に合わせて付き添いを行い、リスクを回避していく。今年度もご意見ご要望が挙がっていないが、以前より家族との関わりが多くなり、自宅で話された事等を送迎時や電話にてお知らせ頂く事が増えた。今後もより良い関係を築いていく。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	鯉のぼり制作 花見ドライブ、散歩	リスクマネジメントについて
5月	菖蒲湯 園外ドライブ 作品制作	考えられるリスク（物のやり取り等）軽減
6月	七夕制作 食中毒について	大雨災害時の対応について
7月	スイカ割り 作品制作	感染予防について
8月	ワークキャンプ 夏祭り 作品制作 紬衣(ゆい)太鼓演奏	考えられるリスク（暑さ、熱中症等）軽減
9月	敬老会 作品制作	リスクマネジメントについて
10月	運動会 作品制作	担当者会議の要点
11月	秋のドライブ 焼き芋 作品制作	利用者トラブルの対応について
12月	ゆず湯 餅つき 忘年会	
1月	初詣 作品制作	考えられるリスク（物のやり取り等）軽減
2月	節分鬼退治ゲーム 作品制作	集団レク（ゲーム等）の進め方
3月	作品制作 花見弁当	感染症対策について

評価：今年度より外部からの慰問やボランティア等が再開され、太鼓演奏やワークキャンプ等数年ぶりの実施で、多くの利用者より喜びの声を頂いた。ホールで行う季節行事も感染対策を講じた上で行い、カラオケを歌う利用者も増えている。今後は少ない職員でも安全かつ効率的に実施できるよう、他部署との協力をしながらご利用者からの意見を取り入れた物を実施していく。

認知症対応型共同生活介護事業 部門

グループホーム ひだまり

【事業報告】

1. 総括

- ・本年度課題と取り組みについて話し合った中で、課題の一つに利用者の日中の過ごし方があがった。勤務時間の変更もありスタッフの人数がそろう時間を有効に使い、利用者に寄り添えるよう、業務改善について話し合い取り組んだ。今後も継続して検討していきたい。又日中の利用者の過ごし方について、スタッフそれぞれの工夫がみられた。
- ・日勤帯に関しては全スタッフどちらのユニットにも入れるよう勤務を組み、両ユニットの利用者の様子がわかるようになった。スタッフが急に休みを必要になった時など、ユニット間でのフォローがしやすくなっている。ユニットの異動に関しては1度行ったが定期的に来ていない。
- ・看取りを2件行った。家族と話し合いをしながら家族と一緒に見守る事ができた。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	6,420	6,634	6,420	6,634	6,634	6,420	6,634	6,420	6,634	6,634	5,882	6,634	78,000
実績	6,586	6,734	6,881	6,739	7,112	6,864	6,937	6,857	7,073	6,542	6,328	6,603	81,256
達成率	102.6	101.5	107.2	101.6	107.2	106.9	104.6	106.8	106.6	98.6	107.6	99.5	104
稼働率	95.7	95.3	98.0	94.3	100.0	99.3	97.8	100.0	100.0	95.9	98.4	91.6	97.1%

評価：

- ・骨折による入院が2名。体調の悪化による入院が3名。又入院や看取りで6名の退居があり稼働率低下につながった。入居に関してはご家族の都合で退居から日数が開く事もあったがスムーズに進んだ。年間で13件の入居申し込みあったが、待機期間に他施設に入居することや将来に向け申し込まれている方もおり、今後は積極的に事業所と連携し情報の把握に努めたい。

3. 利用者の状況

年齢構成（3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男						1	2			4	91.0歳
女					4	4	2	2	1	13	88.8歳
計					4	5	5	2	1	17	89.9歳

利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
平均介護度	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	2.3
入居者				1			1				1	1	4
退去者			1			1				1		3	6
施設内看取り			1									1	2

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	1	1		1									3

軽微事故			2	1	1	2	2	1	2	2		2	15
ヒヤリ	1	2		2	2	2		1		2	1		13
ご要望				1						1			2

評価：

- ・転倒による病院受診が3件あり、2件は骨折入院となった。要因や背景を話し合い対策、検討を行った。利用者の情報の共有など十分に行い事故防止に努めたい。
- ・ヒヤリが多くあがり、スタッフ間で情報の共有が出来た。防げる事故については、今後も情報を共有し対策をしていきたい
- ・ご意見ご要望が2件と少なかった。質の向上の為、利用者、家族とのコミュニケーションを大切に、意見を聞き出せるよう意識を高めたい。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	花見ドライブ	ミーティング（事業計画等） 宇城ブロック会議
5月	菖蒲湯・母の日 ドライブ（悠優みふね）	勉強会（認知症）
6月	父の日・七夕作り 合同レク	勉強会（感染症・食中毒） 運営推進会議・宇城ブロック会議
7月	七夕作り おやつ作り誕生会	内部研修（身体拘束・虐待）
8月	ひだまり夏祭り	勉強会（看取りケア） 内部研修（口腔ケア）・宇城ブロック会議
9月	敬老祝賀会 秋のドライブ	勉強会（ガウンテクニック）
10月	運動会	運営推進会議・防災訓練 勉強会（虐待）・ミーティング
11月	焼き芋会	内部研修（リスクマネジメント） 勉強会（感染症）
12月	餅つき・忘年会・柚子湯・年賀状 作成	勉強会（パーソン・センタード・ケア） 宇城ブロック会議
1月	合同レク 絵馬作り	勉強会（BCP 感染症）
2月	恵方巻づくり 豆まき	宇城ブロック会議 勉強会（権利擁護）
3月	花見 桜餅作り	勉強会（緊急時対応） 宇城ブロック勉強会

評価：

- ・家族参加の行事は、敬老会と餅つき、忘年会だった。多くの家族に参加頂き、交流をする事ができた。又、個別の支援では利用者の希望と一緒に花を買いに行くことや外食、ふるさと訪問、サロン参加など行ったが、利用者全員は支援出来ていない。引き続き本人、家族の思いに沿えるよう取り組みたい。
- ・部署での勉強会は計画的に行う事が出来た。外部の研修の参加は少なく、今後スキルとモチベーション向上が図れるよう参加を計画していきたい。

訪問介護事業 部門

ヘルパーステーション ひまわり

【事業報告】

1. 総括

今年度は訪問介護、総合事業、居宅介護、保険外とそれぞれの計画のもと、ケアマネ・訪問診療・訪看・相談員・各関係機関との連携が必要であった。保険外サービスでは料金単価の見直しを行った。

ターミナルでの看取り、暫定プランでの訪問開始、長期入院からの在宅復帰等の利用があり関係機関との協力体制を取り、家族、本人の思いに沿った適切なサービスが行えた。リスク面では訪問先で車から降りた道路で闘犬に襲われた。助けを呼び飼い主が保護され、大事には至らなかった。当事者の恐怖や精神的負担は大きく、市町村への報告を行った。後日、市町村からの状況確認と対策等への対応があり、安全が確保できている。災害（台風・積雪）や新型コロナ・インフルエンザ発生時にはサービスの一部中止や追加の利用もあった。

利用者や職員のコロナ感染があり、感染対策を取り訪問に当たり、中止する事は無かった。職員5名のインフルエンザ感染が拡大し停止期間中は調整等で業務への支障があった。感染された利用者の訪問は感染対策を取り、中止する事無くサービスに当たった。

職員の休職（産休）があり、現場に無理が生じた。予定に無い休職であり、現場での戸惑いがあった。急遽、常勤の移動で徐々に体制は整い、サービスへの影響は無かった。

新勤務体制を導入する上でサービス時間の見直し、利用者や家族、事業所への相談を行った。了承を得て10月より実施した。事業所での時間を効率よく使えるように創意工夫を行った。

2. 續報告（単位千円）

訪問介護分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	2,800	3,960	4,320	4,680	5,040	5,400	5,400	5,400	5,400	5,300	5,250	5,400	58,350
実績	2,130	2,326	2,854	3,752	3,456	3,158	3,353	3,322	3,228	3,207	3,089	3,269	37,144
達成率	76%	58%	60%	80%	68%	58%	62%	61%	60%	62%	58%	60%	63%

居宅介護分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	3,000
実績	312	301	286	368	355	589	729	673	579	306	341	463	5,302
達成率	125%	120%	114%	147%	142%	236%	290%	270%	231%	122%	136%	185%	177%

評価：

訪問介護は入院や死亡・施設への移行はあったが利用者数は増えている。

予算の達成には至らなかったが徐々に回復した。

居宅介護は入院や介護保険との併用はあったが長期入院で重度（区分5）の退院があり、予算は大幅に達成出来た。

良質なサービスは利用者の状態や能力を見極め、定期的なモニタリングを行い提供出来た。

状態の安定や意欲向上にも繋がった。

利用者の状態に合わせた妥当な種別の選択や支給量の見直しへの提案を行い、重度利用者の退院に向けては病院や担当機関との退院前のカンファレンスに参加し、一時帰宅での動作確認の機会も提案した。

退院後の生活が安心、安全に継続できるように妥当なサービスの見極めを計画作成担当者と同関係機関と共に行った。

転倒や状態悪化等のリスクについても連携し情報の共有を行った。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末日現在）（要介護者）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男		1	2	1	3	1	4		1	13	84.3歳
女			1	5	6	8	15	2	2	39	87.6歳
計		1	3	6	9	9	19	2	3	52	86.8歳

利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要支援1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1
要支援2	3	3	3	5	5	5	6	6	7	6	6	6
要介護1	14	20	23	27	27	28	27	27	27	25	26	30
要介護2	10	8	8	8	8	10	12	11	13	15	14	11
要介護3	3	3	4	3	4	4	5	5	6	7	5	7
要介護4	3	3	5	6	5	5	4	4	3	3	3	3
要介護5	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計	30	34	40	45	45	48	49	48	49	51	49	52

介護保険サービス種別回数

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	身体	165	208	308	523	496	386	499	466	440	485	430	400	4806
	身体生活	266	278	285	323	302	306	280	270	258	249	253	316	3386
	生活	40	40	38	37	35	33	36	33	32	21	20	26	391
	訪問型サービス	38	45	42	44	48	46	58	46	59	51	47	46	570
	訪問型独自サービス	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18

障害福祉サービス種別回数

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪	身体	9	4	4	4	4	6	4	4	5	3	5	7	59

	身体家事	15	13	13	13	13	47	74	73	65	21	24	43	414
	家事支援	53	61	59	75	72	72	67	64	52	47	48	51	721

4. 行事・勉強会

	会議・勉強会
4月	倫理法令遵守・個人情報保護
5月	虐待防止・身体拘束について
6月	食中毒・熱中症予防について
7月	緊急時・災害時の対応・BCPについて
8月	認知症について
9月	事故発生または再発防止について
10月	高齢者の食生活と疾病について
11月	感染症予防（インフルエンザ・新型コロナ）について
12月	利用者の尊厳とプライバシー保護について
1月	接遇について
2月	障害者の支援について（人権意識・知識や技術向上）
3月	事例検討・記録について

評価：

- ・訪問介護員の質の向上と充実を目指す為の研修は毎月、計画を立て集団研修（ミーティング）として実施した。情報を共有して問題解決や新たな学びと気づきを深める事が出来た。
- ・利用者の生活の質の向上は出来る能力を最大限に生かせるように働きかける事で、意欲や状態の安定に繋がった。
- ・健康状態の把握や失病を理解し、主治医や支援事業所との連携を図り、市町村や関係機関・福祉・医療・保険との協力を行った。
- ・苦情や大きなトラブルは無かったがご意見に関しては、迅速にサービス提供責任者が訪問してその解決に当たった。

地域密着型 特定施設入居者生活介護 部門

コミュニティハウス みんなの家 ≪介護付有料老人ホーム・さくらの宿≫ 【事業報告】

1. 総括

組織体制の変更があったが、出来る限りご利用者さんと働くスタッフの戸惑いを少なくするため全体的に業務の把握やご利用者さんの状況を理解しケアの方向性の検討、現場のスタッフが働きやすいように意見交換を頻繁に行ったがまだ途中段階であり次年度も継続的にご利用者さんが安心して生活できるように、そして働くスタッフのやりがいアップをするために積極的に改革を行っていきたい。

また、本人やご家族から「最期までみんなの家でお願いしたい」といったニーズも多く今年度はターミナルケアを行っての退去のケースが多かった。そういったご利用者さんの期待に応える為にチーム力の強化や職員のスキルアップを行い「みんなの家でよかった」と思ってもらえるように研鑽していきたい。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	115,200
実績	8,635	8,923	8,996	9,547	9,635	9,699	9,908	9,348	9,384	9,586	8,710	9,688	112,059
達成率	90%	93%	94%	99%	100%	101%	103%	97%	98%	100%	91%	101%	97%
稼働率	91%	84%	87%	87%	97%	100%	98%	98%	92%	99%	98%	96%	94%

評価：

長期間入居されている方の退去、急変等が重なり一時は3部屋空床になったりしたことがあったが、小規模多機能と協しスムーズな入所移行を行い長期間の空床には至っていない。今後も小規模や関連機関と協し必要な方が入所できるように取り組んでいきたい。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和6年3月末日）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	3	0	0	0	2	3	1	0	9	74.2歳
女	0	0	1	1	2	6	6	3	1	20	88.8歳
計	0	3	1	1	2	8	9	4	1	29	84.3歳

利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	29	29	29	29	28	29	29	29	29	29	29	29	348
平均介護度	2.6	2.5	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.3	2.3	2.4	2.4
入居者	0	1	3	1	0	1	0	0	2	1	0	1	10
退去者	0	3	1	1	0	0	0	2	2	0	1	0	10
施設内看取り	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
軽微事故	4	2	1	1	1	3	0	3	1	2	4	3	28

ヒヤリ	1	2	5	2	1	8	1	4	2	2	0	0	28
ご要望	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

評価：

全体的に見て 1 人にて居室で動かれての転倒の割合が多くみられた。一方で誤薬等のヒューマンエラーもあったため、そういった場合は随時話し合いを行い再発防止に努めている。

また、ご意見ご要望も上がっているがきちんと掘り起こしが出来ていない。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	桜の花見	
5月	母の日	
6月	父の日・梅干し作り	
7月	ミニ縁日	特定協研修
8月	ミニ夏祭り	
9月	敬老会	特定協研修
10月	秋のドライブ	
11月	秋刀魚焼き会	
12月	クリスマス会・もちつき	
1月	土喰どんどや見学	特定協研修
2月	バレンタインデー	地域密着型合同勉強会
3月	春の野点	

評価：

コロナ感染症が 5 類になった事で行事ごとも徐々に以前のようにすることが出来るようになってきたが、感染者が出ることで直前まで企画していた行事（夏祭りや外出等）を急遽規模縮小するといった対応を余儀なくされた場面も多々あった。ご利用者さんを守るためにもその時の状況に応じて柔軟に行事の開催等行っていきたい。

勉強会については、小規模と比べると外部の研修に参加する機会が少ない為、施設全体で研修への参観計画を立てていきたい。また、小規模と同様に施設内勉強会の開催が少なく「職員主体の勉強会」を次年度は行っていきたいと考えている。

外部研修では「オンライン」を取り入れたことで事業所にいながら研修参加が出来ることでスタッフが参加する機会が増えてきている。

「学びたい」と考えている職員にはスキルアップの機会を提供していきたいと考えている。

小規模多機能型居宅介護 部門

コミュニティハウス みんなの家 ≪小規模多機能型居宅介護・おしゃべり処≫ 【事業報告】

1. 総括

美里町唯一の小規模多機能型居宅介護事業所として在宅生活を続けていくための頼みの綱となるため、地域から頼られる施設を目指し活動しています。

生活困窮者の方、老々介護や独居の方、生活全般に支援が必要な方、等一般的に「困難ケース」と言われている方々も【通い・訪問・泊り】のサービスを柔軟に提供しご利用者さんの在宅生活を支えています。

旧砥用地区は本体事業所。中央地区はサテライト事業所とエリアを分けて対応しているが、ご利用者さんの状況に応じ事業所同士で協力し一体的な支援を行っている。今後もご利用者さんのライフスタイルやニーズに応じて柔軟に対応を行っていきたいと考えています。

2. 実績報告（単位千円）

本体事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	81,600
実績	7,169	7,105	7,130	6,677	7,113	6,940	6,766	6,757	6,906	5,600	5,887	5,236	79,286
達成率	105%	104%	105%	98%	105%	102%	100%	99%	102%	82%	87%	77%	97%

サテライト事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	27,600
実績	2,176	2,466	2,789	3,262	2,875	2,977	2,994	2,722	2,947	2,870	2,692	2,383	33,650
達成率	95%	107%	121%	142%	125%	129%	130%	118%	128%	125%	117%	123%	122%

評価：

小規模本体予算の達成は出来ていない。要因として本来であれば施設入所が望ましい方も小規模多機能を利用しギリギリの状態を利用されていた方々が急に施設入所や体調を崩され入院されるといった状態となり急激に登録数が減少したことが要因となっている。本体事業所とサテライト事業所で協力しご家族の意向や個人の状況に応じ本体・サテライトで一体的にサービスが提供していくことで安定した利用者さんの受け入れ態勢を行っている。

3. 利用者の状況

年齢構成（本体）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	1	2	0	0	1	2	1	1	0	8	79.5歳
女	0	0	1	0	2	7	5	3	0	18	88.2歳
計	1	2	1	0	3	9	6	4	0	26	85.6歳

年齢構成（令和3年3月末日現在）（サテライト）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	88歳
女	0	0	1	0	4	4	0	1	0	10	84.3歳
計	0	0	2	0	4	4	0	3	0	13	85.1歳

利用サービス状況（本体）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	29	28	29	29	29	28	28	28	29	27	28	24	336
通い延べ人数	490	479	451	495	514	483	513	505	506	426	432	382	5,676
訪問延べ人数	616	594	638	605	626	579	606	585	540	462	372	325	6,548
宿泊延べ数	182	167	145	157	184	180	192	190	193	135	170	162	2,057

本体事業所は介護度の高い方や本人の体調に合わせての宿泊や家族のレスパイトケアが必要な方等ニーズがあり宿泊者は一定数保たれている状況。

利用サービス状況（サテライト）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	12	12	14	15	15	13	14	14	14	13	13	13	162
通い延べ人数	192	200	211	264	230	223	237	206	218	195	183	196	2,555
訪問延べ人数	551	567	647	709	559	519	592	480	539	502	463	518	6,646
宿泊延べ人数	2	0	0	0	33	45	31	31	31	31	29	36	269

※サテライトの宿泊希望者の対応について。

⇒ 泊りの希望があった場合、本体事業所でのサービス提供を行っている。

利用者介護度（本体）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	14	14	15	15	16	17	17	17	17	17	17	17
要介護2	6	6	5	5	4	4	4	4	4	3	4	4
要介護3	4	4	5	6	6	5	5	4	5	4	4	3
要介護4	5	5	4	3	3	3	2	2	3	3	3	3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
計	29	29	29	29	29	29	28	28	29	27	28	27

利用者介護度（サテライト）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	5	5	6	6	7	7	8	8	7	6	6	6
要介護2	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2
要介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3
要介護4	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1
要介護5	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	12	12	14	15	15	15	14	14	14	13	13	13

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望（サテライト含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	3	
軽微事故	0	0	0	0	1	1		0	0	4	0	0	
ヒヤリ	0	1	0	0	2	2	1	1	3	2	1	1	
ご要望	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4

評価：

リスクやご意見があがったらすぐに出勤職員でカンファレンスを行い、原因の究明や再発防止に向けての対策、各スタッフへ周知の徹底を行っている。

スタッフ間のコミュニケーション不足によるヒューマンエラーも多発しており今後改善が必要。

5. 行事・勉強会（サテライト含む）

	行事関係	会議・勉強会
4月	桜の花見	
5月	母の日	小規模多機能連絡協議会
6月	父の日・梅干し作り	
7月	ミニ縁日	小規模多機能連絡協議会
8月	ミニ夏祭り	
9月	敬老会	小規模多機能連絡協議会
10月	秋のドライブ	小規模連絡会勉強会・交流会
11月	秋刀魚焼き会	小規模多機能連絡協議会
12月	クリスマス会・もちつき	
1月	土喰どんどや見学	小規模多機能連絡協議会
2月	バレンタインデー	地域密着型事業所合同勉強会（感染症）
3月	春の野点	

上記の他毎月、ご利用者さんの状況に応じカンファレンスや小規模ミーティングを行っている。定期的にカンファレンスの場を設けチーム内での情報共有やケアの方向性の統一を行っている。

評価：

コロナ感染症が5類になった事で行事ごとも徐々に以前のようにすることが出来るようになってきたが、感染者が出ることで直前まで企画していた行事（夏祭りや外出等）を急遽規模縮小するといった対応を余儀なくされた場面も多々あった。ご利用者さんを守るためにもその時の状況に応じて柔軟に行事の開催等行っていきたい。

勉強会に関しては施設内勉強会の開催が少なく「職員主体の勉強会」を次年度は行っていきたいと考えている。

外部研修では「オンライン」を取り入れたことで事業所にいながら研修参加が出来ることでスタッフが参加する機会が増えてきている。

「学びたい」と考えている職員にはスキルアップの機会を提供していきたいと考えている。

ユニット型地域密着型 介護老人福祉施設 部門

特別養護老人ホーム 悠優かしま

【事業報告】

1. 総括

悠優みふねのオープンに伴い3名の介護職員が移動、前年度から相談があっていた看護師2名の退職もあり5月から7月に掛けて入職や移動で落ち着かない年度のスタートとなった。

4月～5月は特定施設、10月以降はデイサービスの応援もあり今まで以上に横の連携に助けられた1年だった。

9月には5年ぶりに特定施設と合同で敬老会を企画し、その後も外出行事や食レクも再開する等、基本の感染対策は継続しながら新しい形で提供できた。

年が明けて1月中旬ごろからコロナ陽性者が増え1ユニットで収束する事が出来ず、結果的には入所者の殆どに感染する事態となった。職員も7名感染し、収束できたのは2月下旬、感染力が強く対応について改めて考えさせられた。その後も面会や外出、外泊等は継続して行っているが、新たな感染者は出ていない。

入退所の状況は昨年と同数の10名の入れ替わりがあった。入院が長引く方はあまり居られず家族が1か月経たないうちに退所を決められるケースもあった。退所が続いた後のスムーズな入所が徐々に難しくなって居り、申し込みはあってもすぐの入所に繋がられない状況が続いている。

永年勤続職員の退職や看護師不足が職員全体のモチベーションの低下に繋がり、昨年に引き続き働きやすい職場作りとは程遠く、職員のスキルアップについても今後の課題。

2. 特養実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	12750	13175	12750	13175	13175	12750	13175	12750	13175	13050	11900	13175	155000
実績	12649	13132	13195	13410	13734	12816	13331	12752	13104	13152	12220	13235	156730
達成率	0.992	0.997	1.035	1.018	1.042	1.005	1.012	1.000	0.995	1.008	1.027	1.005	1.011
稼働率	94	94	97	97	99	95	97	96	95	96	99	97	平均96.4

ショートステイ実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	3300	3400	3300	3400	3400	3300	3400	3300	3400	3400	3000	3400	40000
実績	2895	3050	3702	3585	3135	2903	3180	3225	3135	3319	2464	2833	36426
達成率	0.877	0.897	0.819	1.054	0.922	0.880	0.935	0.977	0.922	0.976	0.821	0.833	0.911
稼働率	68	72	72	76	69	72	77	65	75	77	63	75	平均71.7

評価：尿管ステントやペグ交換等の定期入院以外は7件の入院で、そのうち転倒事故が2件、あとは誤嚥性肺炎等での入院だが2週間から1ヵ月程度で退院され長期化する方は少なかった。11月に転倒し大腿骨転子部骨折の方が手術後の転院リハビリで2か月余りの入院となった。入院後病院で亡くなった方は4名、そのまま入院先での退所となった。

ショートステイは、平均実人数29名、平均延人数218名定期利用の方でも月に1回の1泊2日の方も多く実人数に対して稼働率が上がっていない。更にロング利用の方の施設入所や入院等での利用中止も多かった。一度利用された方のリピート率を上げ、定期利用に繋がるようなサービスの提供が課題となっている。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末日）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	91.7歳
女	0	0	1	1	3	5	8	8	0	26	90.5歳
計	0	0	1	1	3	5	11	8	0	29	90.6歳

利用者在籍状況（特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	29	29	29	29	28	28	29	29	29	29	29	29	346
介護度	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	平均4.0
入居者	1	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	9
退居者	1	2	0	2	0	1	1	0	0	1	0	1	9
看取り	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	5

短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	30	34	29	30	25	27	33	30	31	31	26	31	344
延べ数	204	222	215	235	215	217	239	195	231	237	175	233	2618
介護度	2.6	2.5	2.5	2.3	2.	2.	2.	2.	2.	2.	2.	2.	平均

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2	7
軽微事故	1	5	4	2	1	6	3	7	4	7	5	3	48
ヒヤリ	1	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2	8
ご要望	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2

評価：昨年と比較すると事故と軽微事故の件数はかなり増え、ヒヤリは半減している。軽微事故の多くは受診の必要のない転倒や表皮剥離で例年と変わらない。病院受診からの骨折入院や誤薬は行政への報告を行っているが6年度は7件と多い。自分で動かれての転倒骨折の中、2件は職員の付き添い時や介護中の事故となっている。ヒヤリハット報告が昨年の半分の件数しか上がっていない事にも職員の意識の低下が見られる。職員の基本的な介護技術の見直しやケアの統一等が必要。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	茶話会（おやつ作り） 駄菓子販売	・カンファレンス ・給食委員会 ・ユニットミーティング ・リスク委員会
5月	鯉のぼり作り しょうぶ湯	・カンファレンス ・給食委員会 ・ユニットミーティング ・リスク委員会
6月	植物園へ外出行事	・カンファレンス ・ユニットミーティング ・避難訓練（夜間想定）
7月	七夕飾り スイカ割り	・カンファレンス ・ユニットミーティング ・リスク委員会
8月	夏祭り～縁日（ヨーヨー釣り、駄菓子すくい、景品ゲーム等） かき氷、たこ焼き等、花火見学	・カンファレンス ・ユニットリーダーミーティング ・リスク委員会
9月	敬老会、バナナの叩き売り （家族招待）	・カンファレンス ・ユニットミーティング ・リスク委員会
10月	秋の食のイベント（さんま） 動物園へ外出行事	・カンファレンス ・ユニットミーティング ・リスク委員会 ・避難訓練（昼間想定） ・給食委員会

11月	ひまわり見学 銀杏見学	・カンファレンス ・給食委員会	・ユニットミーティング ・リスク委員会
12月	餅つき ゆず湯	・カンファレンス ・リスク委員会	・ユニットミーティング
1月	初詣（高田神社） 正月遊び（書初め・おみくじ）	・カンファレンス ・給食委員会	・ユニットミーティング ・リスク委員会
2月	節分豆まき 雛段飾り	・カンファレンス ・リスク委員会	・ユニットミーティング
3月	ひな祭り 花見弁当 花見ドライブ	・カンファレンス ・給食委員会	・ユニットミーティング ・リスク委員会

評価：昨年から徐々に外出行事や食レク等を復活させ利用者の方達喜んで頂いている。敬老会も5年ぶりに特定施設と合同で家族を招待し開催する事が出来た。デイホール～レストランまでのスペースで開催、参加者が多く若干窮屈な状況ではあったが、バナナの叩き売りや職員の寸劇等で盛り上がりを見せた。

令和6年度 内部研修

（かしま全事業所を対象として実施）

	研修形態	研修内容	担当者
7月15日	集合	食中毒予防	上村浩美
7月18日 7月25日	ZOOM	身体拘束・高齢者虐待防止 「RCAを活用した危険予知トレーニング」	土田幸博
8月27日	ZOOM	お口の役割と口腔ケアについて	吉永歯科医院訪問診療部 歯科衛生士
9月30日	集合	自然災害時のBCP	道村豊宏
10月21日	訓練	大雨・洪水時のBCP訓練	道村豊宏
10月	WEB	介護従事者に重要な自己覚知 介護現場での感情のコントロール	山下真也
11月26日 11月29日 11月30日	集合 訓練	感染症予防 感染症発生時のBCP PPEの実地研修	上村浩美 谷口志保
12月2日	ZOOM	千寿会におけるリスクマネジメントについて考える	毛利 翼
2月27日	ZOOM	身体拘束・虐待研修	田村さくら 山下真也
3月6日	ZOOM	口腔ケアの基礎知識とアセスメントについて考える	徳治会歯科医院 歯科衛生士

通所介護事業 部門

デイサービスセンター 悠優かしま

【事業報告】

1. 総括

R6 年度も「ここを勧められた」と口コミや知人の紹介で新規利用につながるケースが一定数あった。今後も利用者・ご家族含めて信頼関係が築けるように努めていきたい。また、介護度が上がっても在宅生活を継続される方が増えてくる事を踏まえて、複雑な状況ではあるが、デイサービスで安全に安心して過ごせる関わりや環境作りを考えていきたい。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,000	5,500	71,500
実績	4,795	4,856	4,759	4,906	4,703	4,572	5,303	5,261	5,501	5,082	5,409	5,732	60,879
達成率	85.6	86.7	85.0	87.6	84.0	83.1	96.4	95.7	100.0	92.4	108.2	104.2	92.4
稼働率	94.4	92.1	91.1	93.8	85.0	89.5	95.9	99.3	97.6	90.1	91.5	94.9	平均92.9

評価：R6 年度前半は、入院や体調不良が重なり思うように実績が伸びなかったが、後半になると新規利用増加、入院後の再利用、利用日追加などは柔軟に対応し予算に近づくことができた。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	1	1	1	2	6	2	1	0	14	84.9
女	0	0	1	1	9	17	14	5	0	47	88.3
計	0	1	2	2	11	23	16	6	0	61	87.5

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	24	310
実人数	70	74	69	68	67	64	71	78	77	73	78	75	864
延べ人数	544	570	543	577	515	521	578	609	620	585	600	656	6,918
平均利用者	20.9	21.1	21.7	21.4	19.8	20.8	21.4	23.4	24.8	24.4	25.0	25.2	平均22.5

利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合事業	16	19	20	19	17	12	15	16	16	16	14	16
要介護1	21	19	18	17	17	20	22	22	22	22	22	23
要介護2	17	20	21	21	22	21	24	27	28	26	28	29
要介護3	8	7	5	5	6	6	5	5	5	6	5	5
要介護4	3	4	5	5	3	2	3	4	4	3	2	2
要介護5	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	67	70	71	69	67	63	71	75	77	75	73	77

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
軽微事故	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	1	7
ヒヤリ	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
ご要望	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

評価：R6 年度は歩行中の事故が数件あり、年々利用者の歩行状態が不安定になっていることと、身体状況に応じた対応が不十分だったことが要因と思われる。今後、利用者の状態に応じた支援が出来るように情報共有や話し合いの場を設け再発防止に努めたい。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月		ミーティング
5月	母の日 しょうぶ湯 運動会	
6月	父の日	ミーティング
7月	スイカ割り	
8月	夏祭り	ミーティング
9月	敬老会	
10月	焼き芋	ミーティング
11月	サンマ焼き	
12月	クリスマス会 ゆず湯	ミーティング
1月		
2月	節分 バレンタイン	ミーティング
3月	花見弁当	

評価：施設外行事も感染症の影響で予定通り実施できないこともあり、事業所内で季節感を感じてもらえるよう行事を計画し実施した。近年は職員の入退職で行事に関して不慣れな職員が増え、一部の職員に負担がかかる時もあったが、ホール内でも楽しんでいただけるように話し合い計画・実施できた。

令和6年度 内部研修

(かしま全事業所を対象として実施)

	研修形態	研修内容	担当者
7月15日	集合	食中毒予防	上村浩美
7月18日 7月25日	ZOOM	身体拘束・高齢者虐待防止 「RCAを活用した危険予知トレーニング」	土田幸博
8月27日	ZOOM	お口の役割と口腔ケアについて	吉永歯科医院訪問診療部 歯科衛生士
9月30日	集合	自然災害時のBCP	道村豊宏
10月21日	訓練	大雨・洪水時のBCP訓練	道村豊宏
10月	WEB	介護従事者に重要な自己覚知 介護現場での感情のコントロール	山下真也
11月26日 11月29日 11月30日	集合 訓練	感染症予防 感染症発生時のBCP PPEの実地研修	上村浩美 谷口志保
12月2日	ZOOM	千寿会におけるリスクマネジメント について考える	毛利 翼
2月27日	ZOOM	身体拘束・虐待研修	田村さくら 山下真也
3月6日	ZOOM	口腔ケアの基礎知識とアセスメント について考える	徳治会歯科医院 歯科衛生士

居宅介護支援事業 部門

悠優かしま 居宅介護支援事業所 【事業報告】

1. 総括

令和6年度は、4月、5月、6月は実績が伸びずに予算も下回っていたが、7月に10件増加した事で月別の予算を上回り、年度末まで良い状態をキープできた事が予算達成にも繋がった。増加の要因として、悠優みふねの開所に伴い、入居者からの依頼があった事、嘉島町、御船町地域包括支援センターと連携し要支援、要介護問わずに受け入れを行った事で件数増加となった。また、10月には介護支援専門員を増員し4名体制に出来た事も事業所にとってプラス面に働いたと考えられる。

今後は、事業所全体で事務負担軽減や件数調整等を進め、働きやすい環境整備や、研修会・勉強会の参加などで質の高いケアマネジメントが提供できるように他事業所とも良い関係で連携を図っていきたい。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	1335	1335	1335	1335	1335	1335	1335	1330	1330	1330	1330	1335	16000
実績	1273	1258	1289	1406	1443	1398	1538	1470	1541	1456	1539	1511	17122
稼働率	95.4	94.2	96.6	105.3	108.1	104.7	115.2	110.5	115.9	109.5	115.7	113.2	107

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	4	2	3	2	6	14	4	0	0	35	81.5
女	0	1	2	10	12	25	29	5	1	85	87.2
計	4	3	5	12	18	39	33	5	1	120	85.4

利用状況

	男	女	利用者数	実利用者数							平均介護度
				要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	23	71	94	8	8	31	27	10	7	3	1.8
5月	27	70	97	10	10	30	28	11	6	2	1.7
6月	24	73	97	10	9	31	27	8	9	3	1.7
7月	28	79	107	12	9	36	27	9	10	4	1.7
8月	31	78	109	13	9	35	29	10	9	4	1.7
9月	32	77	109	12	9	35	30	11	8	4	1.7
10月	33	83	116	14	11	34	34	11	8	4	1.7
11月	32	85	117	16	11	32	35	12	7	4	1.7
12月	33	88	121	17	11	33	36	14	6	4	1.7

1月	33	82	115	16	10	31	36	14	4	4	1.7
2月	33	87	120	16	10	35	38	13	4	4	1.6
3月	35	85	120	15	11	37	37	12	5	3	1.6
計	364	958	1322	159	118	400	384	135	83	43	1.7

4. 行事・勉強会

開催日	内容等	備考
4月10日	・居宅勉強会「倫理綱領 行動規範」	ZOOM
5月9日	・他法人との共同事例検討会	ZOOM
6月13日 6月19日	・嘉島町集団指導（地域ケア会議にて） ・2024年度介護保険制度改正 ～福祉用具貸与・特定福祉用具販売はどう変わったのか？～	ZOOM
7月12日 7月18日	・ヤングケアラーの支援の在り方 ・身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修	ZOOM 法人内部研修
8月8日	・他法人との共同事例検討会 ※特定事業所集中減算集計（前期）	ZOOM
9月11日	・ケアプラン点検の目的と留意点	ZOOM
11月14日 11月27日	・他法人との共同事例検討会 ・介護支援専門員×相談支援専門員 ～障害分野との連携のきっかけをつかめ～	ZOOM ZOOM
1月17日	嘉島町在宅医療連携体制検討会	嘉島町民会館
2月13日 2月21日 2月22日	・他法人との共同事例検討会 ・クライアントを理解する ～アセスメントの意義を見直そう～ ・経営状況報告 *5つのポイント* ※特定事業所集中減算集計（後期）	ZOOM ZOOM ZOOM
3月11日	・自然災害に備えて ～BCPにおける研修・訓練等について～	ZOOM
※	居宅会議（週1回） 嘉島町地域ケア会議（毎月1回） 法人内部研修（別紙令和6年度 内部研修資料参照）	

評価： 令和6年度も ZOOM での研修参加が多く、上記以外にも必須研修は法人内部研修に参加するなど網羅出来るように努めた。また、ヤングケアラーや障害分野の研修など特定事業所加算算定要件研修にも積極的に参加し、他分野の知識習得、多職種連携等に役立つように学ぶ機会を持った。

令和6年度 内部研修

（かしま全事業所を対象として実施）

	研修形態	研修内容	担当者
7月15日	集合	食中毒予防	上村浩美
7月18日 7月25日	ZOOM	身体拘束・高齢者虐待防止 「RCAを活用した危険予知トレーニング」	土田幸博
8月27日	ZOOM	お口の役割と口腔ケアについて	吉永歯科医院訪問診療部 歯科衛生士
9月30日	集合	自然災害時のBCP	道村豊宏

10月21日	訓練	大雨・洪水時のBCP訓練	道村豊宏
10月	WEB	介護従事者に重要な自己覚知 介護現場での感情のコントロール	山下真也
11月26日 11月29日 11月30日	集合 訓練	感染症予防 感染症発生時のBCP PPEの現地研修	上村浩美 谷口志保
12月2日	ZOOM	千寿会におけるリスクマネジメント について考える	毛利 翼
2月27日	ZOOM	身体拘束・虐待研修	田村さくら 山下真也
3月6日	ZOOM	口腔ケアの基礎知識とアセスメント について考える	徳治会歯科医院 歯科衛生士

特定施設入居者生活介護 部門

コミュニティハウス 悠優かしま

《介護付有料老人ホーム》

【事業報告】

1. 総括

R6 年度は人員配置の見直し、勤務時間の短縮の取り組みを行うことで、慌ただしいスタートとなった。業務の見直しや削減を都度行ったことで、人手が必要な時間帯が明確になった事でスポット的な支援でクリアできる道筋は見えてきたと感じている。

行事に関しては予定通りの実施が難しく、施設内で楽しんでいただいていたが、ありきたりなものになった。職員も満足のいく結果とはなっていない為、次年度にリベンジしたい。

家族とコミュニケーションをとることが苦手な職員もいて、今後の課題である。

職員の質の向上に関して今年度はケアマネ合格者が 2 名出てうれしい結果となっている。法人内部での研修はあるが、視野を広げる意味でも今後出来たら、外部研修への参加を実践したい。また、適正な人員配置については、法人全体での創意工夫が必要であり、今後の課題として取り組む必要性がある。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	10,680	11,035	10,680	11,035	11,035	10,680	11,035	10,680	11,035	11,035	10,035	11,035	130,000
実績	9,076	9,884	9,983	10,598	11,055	10,829	10,462	10,098	10,886	11,103	9,945	10,918	124,831
達成率	85.0	89.6	93.5	96.0	100.2	101.4	94.8	94.6	98.6	100.6	99.1	98.9	96.0
稼働率	83	89	96	96	99	96	93	93	97	99	96	96	

評価：

前年度末から今年度始まって数か月、空床がある状態での見取りや死亡退去・入院等が重なり、入居の調整が追い付かない状況であったことが一つの要因。また、ここ1年でさらに待機者数も減ってきており、問い合わせがあっても申し込みまで行かないケースも多かった(今すぐ入居できる場所を探しているなど)

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	0	0	2	1	1	4	0	8	91.9歳
女	0	0	1	2	3	5	4	4	2	21	89.6歳
計	0	0	0	2	5	6	5	8	2	29	90.1歳

利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	28	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	29	
平均介護度	2.4	2.4	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	
入居者		4	2	1	1			2	1		1		12
退去者	3	1	1				2	1		1		1	10
施設内看取り	2	1	1										4

リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	1						1						2
軽微事故	1	4	2		2	6	6	7	7	3	5	4	
ヒヤリ	1	4	2	2	3		1						
ご要望													

4. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	お菓子販売	ミーティング
5月	おやつ作り	ミーティング
6月	映画鑑賞会	ミーティング
7月	七夕会	ミーティング
8月	ミニ夏祭り	ミーティング
9月	敬老会	ミーティング
10月	制作活動	ミーティング
11月	おやつ作り	ミーティング
12月	クリスマス会	ミーティング
1月	初詣	ミーティング
2月	節分	ミーティング
3月	花見 熊本城ドライブ	ミーティング

評価：

外に出る機会が少なく、室内での活動が多かった。外出を増やしたいが、人員の確保も難しく車両の調整も厳しい。職員自体もどう調整するといいいのか等工夫の仕方がわからないことが多かったように感じる。

令和6年度 内部研修

(かしま全事業所を対象として実施)

	研修形態	研修内容	担当者
7月15日	集合	食中毒予防	上村浩美
7月18日 7月25日	ZOOM	身体拘束・高齢者虐待防止 「RCAを活用した危険予知トレーニング」	土田幸博
8月27日	ZOOM	お口の役割と口腔ケアについて	吉永歯科医院訪問診療部 歯科衛生士
9月30日	集合	自然災害時のBCP	道村豊宏
10月21日	訓練	大雨・洪水時のBCP訓練	道村豊宏
10月	WEB	介護従事者に重要な自己覚知 介護現場での感情のコントロール	山下真也
11月26日 11月29日 11月30日	集合 訓練	感染症予防 感染症発生時のBCP PPEの実地研修	上村浩美 谷口志保
12月2日	ZOOM	千寿会におけるリスクマネジメント について考える	毛利 翼
2月27日	ZOOM	身体拘束・虐待研修	田村さくら 山下真也
3月6日	ZOOM	口腔ケアの基礎知識とアセスメント について考える	徳治会歯科医院 歯科衛生士

訪問看護 部門

ナーシングPlus 悠優

【事業報告】

1. 総括

開設4年目になる令和6年度は、幾度目かの変革と挑戦、多様性を求められた1年だった。御船町への事務所移転、悠優みふね開設に伴う医務への下支えに始まり、管理者交代、チームの再構築、初の現地指導と大波を越えながら、協働・協調が求められる出来事が多かった。一つ一つの波に真摯に対応、悠優みふね内だけでなく、法人全体からの後方支援を受け、成長に繋がったと考える。

令和7年3月現在の利用者数は嘉島町14件、益城町4件、美里3件、御船町17件の計38件となっている。38名のうち、法人内居宅20名、法人外居宅18名と偏りはなく、開設に伴い新規利用者の増加だけでなく、法人外の居宅への関わりが増え、その後の新規利用者獲得にも繋げる事が出来た。ただ、次年度は特定施設へ移行する為、実績や件数の減少は一時的に発生する。その点も考慮し、強みである法人内の関係確立に努め、訪問看護導入の機会を逃さない事にもフォーカスした。小規模な訪問看護ステーションだからこそ、依頼・相談から訪問開始までの即応力を高め、丁寧で個別性のある看護・リハビリを提供する事を目指した。予算達成には届かなかったが、弱みを最小限に抑えた事も実績に繋がられたと思っている。今後も、閉ざされた事業所でなく、看護・リハビリの中心的存在になれるよう努力を続けていきたい。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	2200	2300	2500	2500	2600	2600	2900	2700	2800	3000	3000	3000	32100
実績	1997	1663	1743	2089	2426	1729	2103	1970	1688	1908	1910	1909	23135
達成率	91%	72%	70%	84%	93%	67%	73%	73%	60%	64%	64%	64%	72%

3. 評価

残念ながら、前年と比較し、実績及び達成率は低迷している。コスト削減、研修会の参加による自己研鑽、個々を大切にしたい働きやすい職場作りを行い、次年度の実績に繋がりたいと思っている。

4. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合事業	5	5	5	6	7	5	6	6	6	6	7	7	71
要介護1	6	8	8	12	11	11	8	8	8	8	7	8	103
要介護2	5	4	4	4	5	5	6	6	6	7	7	7	66
要介護3	3	5	4	5	5	5	6	6	8	8	8	7	70
要介護4	3	2	3	4	4	4	2	2	1	0	1	2	28
要介護5	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	31
その他	10	5	6	5	5	5	3	4	3	3	4	3	56

5. 行事・勉強会

	会議・勉強会	
4月		
5月	医療安全勉強会、訪問看護で起きやすい事故について	上谷、光永、佐藤 白崎
6月	益城町包括事例検討会	光永、白崎、佐藤
7月	権利擁護とは	光永、白崎、佐藤
8月		
9月	災害支援シミュレーション	光永、佐藤、白崎
10月		
11月		
12月		
1月	ELNEC—J コアカリキュラム看護師教育プログラム	佐藤
2月	御船町権利擁護研修 上益城訪問看護ブロック・スキンケア勉強会	光永、佐藤 光永、佐藤 高森
3月	上益城保健・医療・介護関係機関施設代表者会	光永

6. 評価

BCP 関連だけでなく、看護・リハビリ力を成長させる為にも研修参加も継続していく。

7. リスクマネジメント・ご意見・要望

悠優みふねの入居者様のご家族より、訪問看護に伝えて薬剤の調整をして欲しいと依頼があった。しかし、施設看護師が体調不良で休職となり依頼が伝わらず、ご家族より指摘を受けて発覚。謝罪し、主治医へ報告。体調不良等にはならなかった。施設のマネージャーと検討し、依頼や処方変更等は申し送りノートに必ず記載し、訪問看護も目を通す事を決めた。

住宅型有料老人ホーム 部門

コミュニティハウス 悠優みふね

《住宅型有料老人ホーム》

【事業報告】

1. 総括

新規オープンし、ご利用者集客では7月で満床となった。職員は、千寿会新規採用者がほとんどで、不安はあったが、介護経験もありコミュニケーションを取りながら連携して取り組むことができた。看取り期のご利用者の受け入れや、他事業者との連携も上手くいきサービス提供をすることができた。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	2130	2556	2982	3408	3834	4260	4260	4260	4260	4260	4260	4260	44730
実績	766	1907	2591	3573	3797	3590	3968	3987	3867	3955	3871	3874	39746
達成率	36%	74.6%	86.9%	104.8%	99%	84.3%	93.1%	93.6%	90.8%	92.8%	90.9%	90.9%	86%
稼働率	14.1%	46%	63%	85.3%	88.1%	87.4%	96.5%	97.7%	93.2%	96.4%	100%	94%	

評価：4月1日にオープンし、7月には在籍者30名（満床）となったが、入退院や入退去等があり目標達成とはならなかった。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男		1			1		3			5	84.8
女				3	1	4	13	2	1	24	89.5
計		1		3	2	4	16	2	1	29	88.7

利用者在籍状況（月末人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者	10	16	22	30	30	30	30	30	30	30	30	28	316
平均介護度	要介護2.0 支援2.1名	要介護1.9 支援2.2名	要介護2.0 支援2.2名	要介護2.1 支援2.2名	要介護2.0 支援2.2名								
入居者	12	6	6	7		1	3		1	1			37
退去者						3		1	1			3	8
施設内看取り						1							1

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故				3		1							4
軽微事故		0	0	0	9	4	2	3	4	6	6	6	37
ヒヤリ	1												1
ご要望						2							

評価：自分で動かれる方が多く、転倒などの軽微な事故が多く見られた。今後は、転倒防止のための機能維持にも目を向けたプログラム提供が課題として残った。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	さくらドライブ	
5月	菖蒲湯・母の日・天草ドライブ	勉強会（認知症ケア）
6月	父の日・七夕作り	勉強会（感染症・食中毒）
7月	七夕	勉強会（看取りケア）
8月		勉強会（BCP災害）
9月	敬老祝賀会	勉強会（身体拘束について）
10月	運動会	勉強会（高齢者虐待）
11月	秋祭り	勉強会（権利擁護）
12月	忘年会・餅つき	勉強会（感染症・インフル・コロナ）
1月		勉強会（BCP感染症）
2月	節分 外食（ラーメン）	勉強会（介護技術）
3月	1周年コンサート・セレクトメニュー	勉強会（接遇・マナー）

評価：8月にコロナ感染があり、夏祭りを延期し、11月に秋祭りとして開催をした。1月にもコロナ感染があり、初詣を中止したが、年間通して、月に1回は行事を行うことができた。

毎月の勉強会（2回/月）開催。今後も継続して行っていく。

悠優みふねの1周年コンサートでは、音大生のコンサートを開催。好評で、今後も後輩へ引き継ぎ、交流を行っていく予定。

小規模多機能型居宅介護 部門

コミュニティハウス 悠優みふね

《小規模多機能型居宅介護》

【事業報告】

1. 総括

新規オープンし、ご利用者集客については、他居宅より難問事例の方の紹介が多かった。

老々介護や独居の方、生活全般に支援や見守りが必要な方も「通い・訪問・泊り」のサービスを柔軟に提供しご利用者さんの在宅生活を支えています。

「小規模多機能型居宅介護事業所」がどういったサービスなのかもっと知って頂く為に地域サロンへの訪問や関係機関との情報交換等を行い、丁寧に対応し今後も啓発活動を続けていきたい。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算	1,680	2,400	3,120	3,840	4,560	5,280	6,000	6,720	6,720	6,720	6,720	6,800	81,600
実績	1,090	1,345	1,932	2,413	2,754	3,011	3,574	3,790	3,646	4,229	4,636	7,126	84,320
達成率	64.9%	56.0%	61.9%	62.8%	60.4%	57.0%	59.6%	56.4%	54.3%	62.9%	69.0%	105%	103%

評価：

小規模多機能では通いの人数に対して職員配置をする必要がある為、大幅な利用人数の増加はないが徐々に登録定員を増やすことができた。今後、短期間での28名登録が出来ればと考えている。今後のご家族の意向や個人の状況、ニーズに対応するためのサービス提供が出来ればと考えている。

3. 利用者の状況

年齢構成（令7年3月末日現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	0	0	4	2	2	0	0	8	86.2歳
女	0	0	0	2	4	1	0	3	0	11	86.3歳
計	0	0	0	2	8	3	2	3	0	18	86.3歳

利用サービス状況（本体）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	6	9	9	11	13	14	14	15	16	17	18	18	160
通い延べ人数	74	113	146	203	182	200	247	253	264	277	264	276	2499
訪問延べ回数	2	43	80	153	228	251	265	250	234	197	206	221	2130
宿泊延べ数	7	14	30	53	63	75	125	131	162	179	141	139	1119

評価

登録ご利用者が徐々に増えるに伴い、病院退院後の方や介護力不足による長期泊りの方・定期泊りの方等泊りのご利用者も増え一定数確保ができて来た。また、訪問は、月に200回に到達しているため、本年度は、訪問体制強化加算が取れるようにしたいと考えている。

利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	2	3	3	4	5	5	3	3	3	5	4	4
要介護2	2	4	3	3	4	4	5	6	6	7	5	5

要介護3	1	1	2	2	2	2	3	3	3	2	3	3
要介護4	0	0	0	1	1	2	2	2	2	1	3	3
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3
計	6	9	9	11	13	14	14	15	16	17	18	18

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽微事故	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	4
ヒヤリ	0	0	3	1	1	0	0	0	2	3	0	0	10
ご要望	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

評価：他のご利用者介護中の転倒事故が3件あっている。大きな怪我には至らなかった。また、宅での転倒骨折により入院をされ、そのまま在宅復帰困難ケースも2件あっている。そのことから小規模ご利用者の転倒予防体操等の強化が必要と感じた。

リスクやご意見があがったらすぐに出勤職員でカンファレンスを行い原因究明や再発防止に向けての対策、各スタッフへの周知を行っていく。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月	桜の花見ドライブ	
5月	菖蒲湯・母の日・天草ドライブ	勉強会（認知症ケア）
6月	父の日・サントリービール工場見学	勉強会（感染症・食中毒）第1回運営推進会議
7月	くまもと水の迎賓館・お手水の森（釣り）	勉強会（看取りケア）
8月		勉強会（BCP災害）第2回運営推進会議
9月	敬老祝賀会	勉強会（身体拘束について）
10月	運動会・ヴィラささゆお祭り参加	勉強会（高齢者虐待）
11月	秋祭り・银杏見学（県庁）	勉強会（権利擁護）第3回運営推進会議
12月	クリスマス会・忘年会・餅つき	勉強会（感染症・インフル・コロナ）第4回運営推進
1月	初詣（若宮神社・浮嶋神社）	勉強会（BCP感染症）
2月	節分・外食（ラーメン）・おでん祭り	勉強会（介護技術）第5回運営推進会議
3月	1周年コンサート・セレクトメニュー	勉強会（接遇・マナー）

上記の他毎月、ご利用者さんの状況に応じカンファレンスや小規模ミーティングを行っている。定期的にカンファレンスを行いチーム内の情報共有やケアの方向性の統一を行っている。

評価：

毎月のおやつレクや園外行事のドライブや地域の催し事等にも参加する事が出来ておりご利用者さんの笑顔も多く見られている。ご家族の参加も多数あり、今後も引き続きチームで取り組んでいきます。また、スタッフの勉強会は月1回実施していますが、なかなか外部研修等参加できていないのが現状です。

今年度は、サポーターの方々の入職や新人職員の入職も新たに予定しています。そのため、在籍職員の指導力アップのためにもコミュニケーションや指導方法、部下・後輩へのアプローチ等を学ぶことの出来る研修会の参加や勉強会の実施、外部からの講師を招いての研修を企画し、職員のスキルアップの場を設けていきたいと考えています。その他、上益城ブロック会へ積極的に参加し、他小規模施設との交流を図れるようアプローチしていきたいと考えています。

通所介護事業 部門

デイサービスセンター 悠優みふね

【事業報告】

1. 総括

嘉島、御船の居宅や地域包括支援センターへリハビリ強化型のアピール行うも、利用者数は伸び悩む9か月となった。その中で悠優みふねを選んで来てくださったご利用者ひとりひとりのケアや、家族との関りを大切にすることで利用者満足度は高く定着率を維持することができた。

悠優かしまデイとの連携、スポットでPTを入れることで機能訓練に対するご利用者の意欲を高めることができ、デイ全体が活気づく機会となった。今後、近隣地域の通所介護事業所との差別化（配食サービス等）を行い、アピールポイントを強化していきたい。

2. 実績報告（単位千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予算				2,400	3,185	3,495	3,885	4,125	4,435	4,675	4,600	5,105	36,000
実績				1,043	1,496	1,485	1,764	1,903	1,958	2,013	2,174	2,497	16,333
達成率				43	46	42	45	46	44	43	47	49	45
稼働率				30.8	35.6	39.7	42.6	48.5	53.6	56.7	61.4	65.4	平均48.2

評価：予算に対し実績を上げることができず、達成率は半数を下回る結果となった。

台風や大雨時にご利用者や居宅へ振替利用の案内をすることで利用回数の維持を図った。

3. 利用者の状況

年齢構成（令和7年3月末現在）

	64歳以下	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	0	2	5	5	4	0	0	16	86.3
女	0	0	0	6	3	4	8	1	0	24	83.8
計	0	0	0	8	8	9	12	1	0	40	85.0

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日				22	26	25	28	26	25	24	24	25	225
実人数				20	25	27	31	33	34	36	37	40	283
延べ人数				129	176	189	227	240	255	259	280	311	2,066
平均利用者				5.6	6.8	7.6	8.4	9.2	10.2	10.8	11.7	12.4	平均9.2

利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合事業				4	6	6	8	11	14	16	16	15
要介護1				11	9	10	11	10	12	12	11	13
要介護2				2	4	4	4	6	7	6	8	8
要介護3				1	2	2	2	2	1	1	1	2
要介護4				1	1	1	0	0	0	1	1	2
要介護5				1	1	1	1	1	1	1	1	0
計				20	23	24	26	30	35	37	38	40

4. リスクマネジメント・ご意見ご要望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽微事故				0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
ヒヤリ				0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
ご要望				0	0	1	0	0	1	0	0	0	1

評価：機能訓練時にはマシン間の移動もあり、午前中は動きが多い時間帯だったが物療機器と上手く組み合わせることで少ないスタッフの人数で見守りと付き添いを行うことができ、事故を未然に防ぐことができた。

5. 行事・勉強会

	行事関係	会議・勉強会
4月		
5月		
6月		
7月	七夕祭り	ミーティング
8月	夏祭り	
9月	敬老会	勉強会：身体拘束
10月	おやつ作り	勉強会：高齢者虐待
11月	萌の里ドライブ	勉強会：権利擁護
12月	クリスマス会 餅つき	勉強会：感染症
1月	正月イベント	勉強会：BCP
2月	節分	勉強会：感染症
3月	お花見ドライブ	勉強会：口腔ケア

評価：有料と小規模との勉強会へ参加。

秋と春にドライブを行い久しぶりの外出で喜ばれるご利用者の声が多くあがった。季節の行事を行った際の写真を広報誌に掲載しご家族へ配布することで、デイでの様子を伝える

